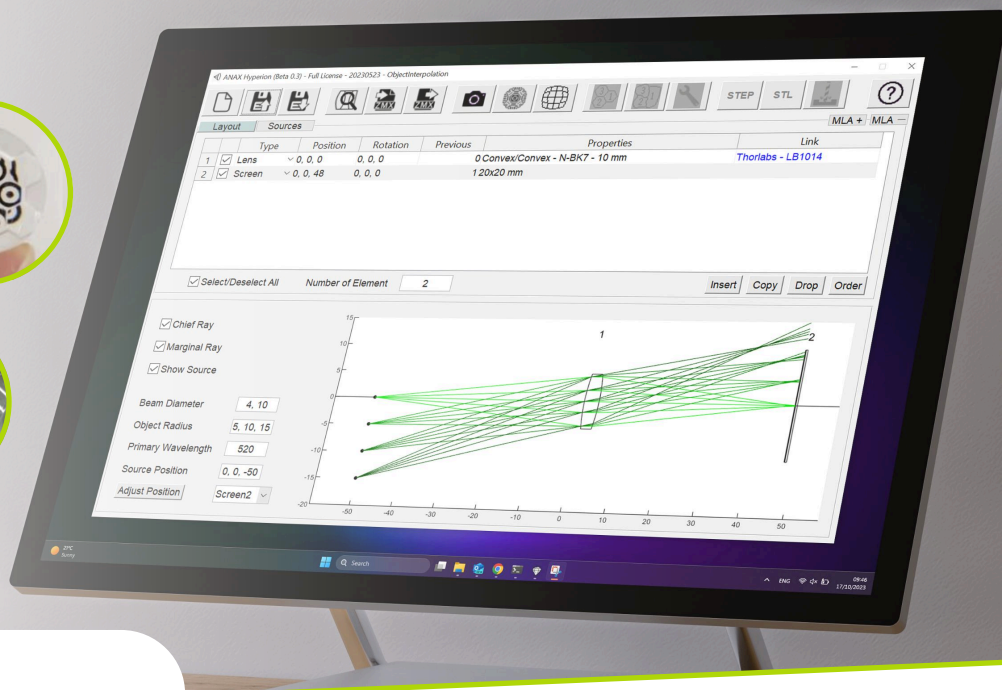


光学設計をより シンプルに



Anax Hyperion™

Anax Hyperion™ は専門的な光学知識を必要とすることなく、直感的なインターフェースと自動化で光学システム的设计とテストをサポートします。

Anax Hyperion™ を選ぶ理由

光学初学者からエキスパートまで

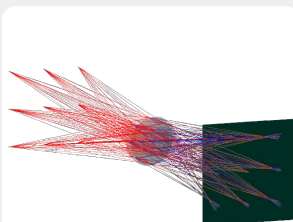
- シンプルで直感的なインターフェース
- 簡単なステップで設計・シミュレーションが可能
- お求めやすい価格で強力な設計機能を実現
- 市販製品カタログからレンズをインポート
- 設計したレンズはSTEP・STL・CNCでエクスポート

本製品の特徴

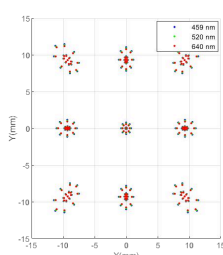
入力を最小限にしたインターフェース

- 光学要素テーブル
- 光源テーブル
- システムプレビュー
- 600以上の市販レンズカタログ (Edmund Opt., Thorlabs, ...)
- 1500種以上のレンズ材質ライブラリ (Ohara, Schott, ...)

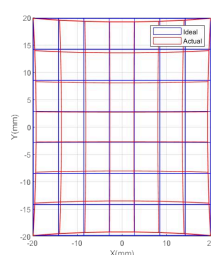
レイトレーシング



スポット分析



ディストーション分析



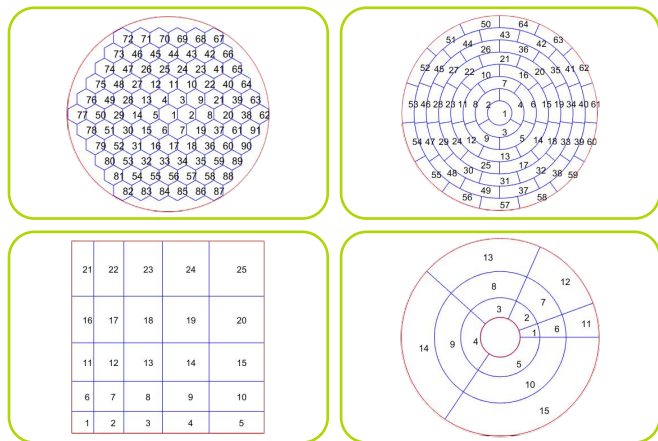
フォトシミュレーション



レンズアレイモジュール

幾何形状レンズアレイ

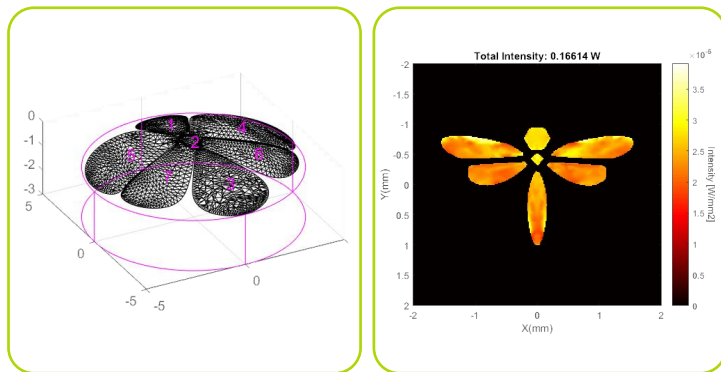
- 均一・不均一なレンズセグメントの配置が可能
- 環形・六角形・長方形のセグメント形状を用意
- 各セグメントの光源と像を入力するだけで形状計算可能！



幾何形状セグメントの配置例

トポロジーレンズアレイ

- 自由形状セグメントにより複雑なイルミネーションパターンを生成
- ベクター画像ファイルから目標パターンを設定
- トポロジー最適化によりセグメントの形状・配置を自動設計

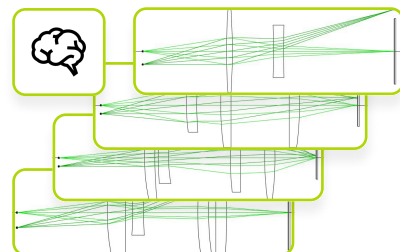


形状自動設計により生成されたトポロジーレンズアレイ

イルミネーションパターンのテスト結果

AI モジュール

- 焦点距離・開口径・視野角から設計の出発点となる光学システムレイアウトを提案
- システムサイズ・要素数・コストなどのオプション変数を設定可能
- 構成するレンズはカスタム・市販製品から選択可能



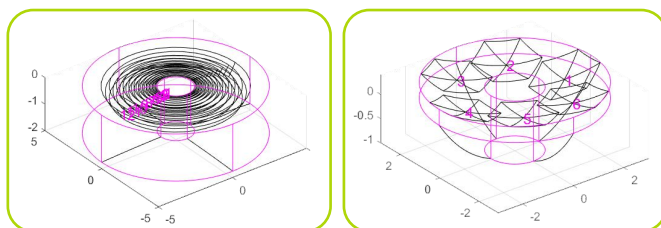
代表的な使用実績

事例 1

大学研究者のA氏は、熱源から異なる距離で温度を測定する新しい非接触温度計を設計したいと考えていました。多焦点レンズアレイと非球面集光レンズを組み合わせることで設計された光学系は $\sim 0.1^{\circ}\text{C}$ の精度で温度を測定できます。

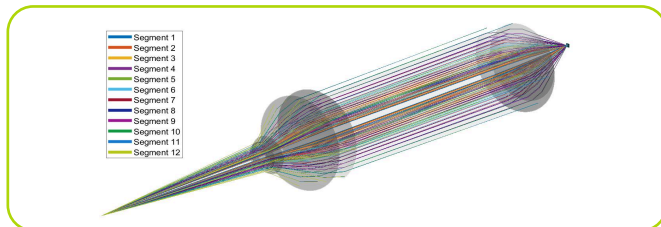
事例 2

エンジニアのB氏は、マイクロ流体実験用に3次元で運動する粒子の速度を測定する顕微鏡対物レンズを設計したいと考えていました。形状自動設計により生成された幾何形状レンズアレイにより深さの異なる6つの計測面から同時に画像を取得できます。



多焦点レンズアレイ (事例 1)

3D撮像レンズアレイ (事例 2)



複合レンズシステムのレイトレーシング (事例 1)

About Us

ANAX Opticsはマイクロレンズアレイ (MLA) の設計及び加工サービスを提供することを目的として2022年に設立されました。国内・海外の超精密加工パートナーと協力し光学システムの設計・加工方法を提案します。



<https://anax.jp/>

info@anax.jp

〒212-0032
川崎市幸区新川崎7-7 KBIC 237号室